

「予期しない妊娠」は私のせい？



分科会 No.⑤

分科会 No.⑨

～女性を取り巻く出産の現場から～

● PART1 では…

妊娠した本人やそのパートナーが、妊娠したことや、子どもを産み育てることを前向きに受け止められず、支援を必要とする状況や状態にあることがあります。「予期しない妊娠」が児童遺棄や虐待死につながることはないように、私たちにできることはないのでしょうか？まずはそんな現状を共に学び、一緒に考えてみたいと思います。



● PART2 では…

「予期しない妊娠」をしてしまったとき、社会でどの様に支えていけば良いのでしょうか？2014年からこうした女性や子どもに寄り添い、日本各地の支援団体の支援も行っているベアホープさんの最前線からのレポートに耳を傾けたいと思います。そして私たち一人一人のシチュエーションの中で何ができるのか、どんな一歩を踏み出せば良いのか、共に考えたいと思います。

日程: 2025年2月8日(土) 13:30~18:30

場所: 飯田橋セントラルプラザ 10階 AB 会議室

定員

会場: 40人
オンライン: 49人

● PART1 13:30~15:30 講演会&グループワーク

【講演・ファシリテーター】

目白大学人間学部人間福祉学科 教授

姜 恩和 (かんうな) さん



● PART2 16:30~18:30 報告会&グループワーク

【報告者】

一般社団法人ベアホープ →→→→

保健師 森崎 智恵子さん

助産師 三浦 杏子さん



【ファシリテーター】

姜 恩和 (かんうな) さん



(注) PART1・PART2 いずれか一方だけでも申込できます。
詳細は裏面をご覧ください。

講師プロフィール

○姜 恩和(かんうな)さん 目白大学人間学部人間福祉学科 教授

韓国・ソウル出身。韓国聖心女子大学(現在の韓国カソリック大学)で社会福祉学を学んだ後、1995年3月に来日。日本に来て抱いた「なぜここまで母子セットなのか」「血縁へのこだわりとは何か」という疑問が研究を進めていくうえで大きな柱となる。東京都立大学大学院社会科学部研究科博士課程修了、社会福祉学博士。同大学助教、埼玉県立大学講師・准教授を経て、2020年4月から目白大学人間学部人間福祉学科にて勤務。日韓の家族規範、特別養子縁組制度の比較、予期せぬ妊娠をした女性支援などの研究を行っている。



○森崎智恵子さん 一般社団法人ベアホープ 保健師

埼玉県出身。埼玉県内の看護学校を卒業後、看護師として3年間病棟勤務。その後東京都の看護短期大学地域看護学専攻科へ入学。卒後は保健師として行政に11年間勤務。10代の時、身近で予期せぬ妊娠により特別養子縁組をした女性を目の当たりにした。その時の実母側・養親側のフォローについて思うところがあり、養子縁組にはずっと興味を持っていた。2017年、縁あって民間で特別養子縁組を支援するベアホープへ入職。日々、養子・実親・養親のケアやフォローに奮闘中。

○三浦杏子さん 一般社団法人ベアホープ 助産師

埼玉県出身。高校時代に特別養子縁組や、予期しない妊娠をした女性に対する支援の必要を知ったことをきっかけに助産師を志す。東京都内の看護大学、助産師学校を卒業後、総合周産期母子医療センターで助産師として5年間勤務。その後ベアホープに入職し、妊娠葛藤相談や特別養子縁組家族への支援などを行っている。

市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO 2025 について

これは「市民社会をつくるボランティアフォーラムTOKYO2025」の分科会の一つです。このフォーラムでは、暮らしの中から見えてきた社会課題について、私たちに何ができるのかを一緒に考えていきます。今年のテーマは「Vamos! 市民社会のミライ~そのときわたしたちは何をしているだろうか?」みなさまのご参加をお待ちしています。

■開催期間 2025年2月8日(土)~9日(日)

■会場 飯田橋セントラルプラザ・オンライン(Zoom)・ほか

■参加費 1分科会1,000円 会場参加・フィールドワークの3分科会以上は3,000円(オンラインへの変更不可)

*学生(専門学校含む)または18歳未満の方は無料

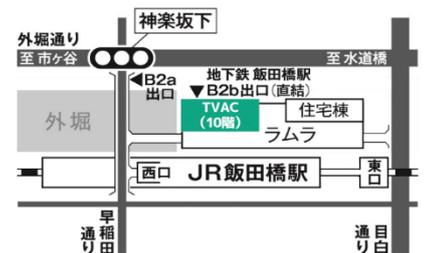
■企画 ボランティアフォーラム TOKYO 2025実行委員会

■主催 東京ボランティア・市民活動センター

■アクセス JR総武線 飯田橋駅 西口改札右手

地下鉄 有楽町線・東西線・南北線・

大江戸線 飯田橋駅 B2b出口



参加申し込み方法

○この分科会への参加を希望される方は、右のQRコードからお申込みください。

(同時にほかの分科会への参加も申し込むことができます)

○PART1、PART2 それぞれでお申込が必要になります。いずれかのみでの参加もできますが、両方お申込頂くと、より理解を深められると思います。

○参加費の支払いが完了すると、参加券がダウンロードできます。

○ホームページからのお申し込みが難しい方は、以下までお問い合わせください。



[お問い合わせ・お申し込み先] 東京ボランティア・市民活動センター 後藤・山添・太田・吉田・高山

〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ10階

TEL 03-3235-1171 FAX 03-3235-0050 HP <https://www.tvac.or.jp/vf/>

Facebook



X(旧 Twitter)



Instagram



YouTube

